

### 第3回ピアドゥ杯争奪青森県フットサル選手権大会要項

1. 大会名称 第3回ピアドゥ杯争奪青森県フットサル選手権大会
2. 主催 (社)青森県サッカー協会・ピアドゥ八戸
3. 主管 (社)青森県サッカー協会フットサル委員会・八戸市サッカー協会
4. 協賛 ゼビオ八戸
5. 期日 平成19年9月2日(日)
6. 会場 ピアドゥ八戸フットサルコート(八戸市沼館 TEL 0178-47-5063)
7. 参加チーム 16チーム以内
8. 参加資格 2007年度財団法人日本サッカー協会のフットサル個人選手登録を行った16歳以上(但し高等学校在学中の選手は出場不可)の選手により構成されたチームであること。  
第1項、のチームに登録されたフットサル個人登録済選手で、選手証または個人登録料の入金を確認できる仮選手証を持参していること。  
青森県内在住外国人選手で構成するチーム及び外国人選手混合チームの参加を認める。  
参加選手は傷害保険(スポーツ傷害保険)に加入していること。
8. 参加申込 同封のフットサル大会登録票(参加申込書兼ねる)に必要事項を記載し下記宛、郵送にて申し込むこと。  
送付先 〒033-0011 三沢市幸町1丁目6-27  
(社)青森県サッカー協会 事務局 宛  
TEL:0176-50-2866 FAX:0176-50-2867  
申し込み締切平成19年8月20日(月)必着  
フットサル大会登録票にエントリーし得る人員は選手15名を上限とする。  
選手変更は3名を上限に可能とし、別紙により、平成19年8月20日(月)必着にて送付すること。FAX可  
参加料は10,000円とし下記に振り込み、振り込み票のコピーを参加申込書と同封して郵送すること。  
振込先 青森銀行三沢支店 口座番号(普通)1179795  
口座名 (社)青森県サッカー協会フットサル委員会 委員長 田谷 正雄
10. ユニフォーム 本大会登録票に記載されたものを原則とし、参加申込書を受理した後の変更は認めない。なお背番号の変更も認めない。  
ユニフォームへの広告表示については、財団法人日本サッカー協会『ユニフォーム規定』に基づき、財団法人日本サッカー協会理事会の承認を得た場合のみこれを認める。  
ユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)は正のほかに副として正と異なる色のユニフォームを本大会フットサル登録票に掲載し、必ず携帯すること。  
チームのユニフォーム(ゴールキーパーのユニフォームを含む)のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。  
背番号は1番から15番までとし、必ず本大会参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。番号は適当な大きさで見やすいものとする。
11. 競技方法 競技規則は、財団法人日本サッカー協会制定の「フットサル競技規則」とする。  
本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会の規律委員会で決定する。  
本大会期間中に警告を2回受けた選手は次の1試合に出場できない。  
競技時間は、参加チーム数及び試合形式により決定するが(予選リーグ前後半10分~15分(ランニングタイム)、ハーフタイム5分。決勝トーナメントは、前後半15~20分(ランニングタイム)、ハーフタイム5分、延長5分×5分ハーフタイム無し、PK。  
ピッチサイズ：原則として40m×20m  
使用球：(主催者で準備)  
シューズ：トレーニング用シューズとし、ピッチを痛めるスタッドの付いたシューズ等は、認めない。

すね当てを着用のこと。

試合形式(参加チーム数により変更することがある)

- ・予選リーグ(3チーム×4組又は4チーム×4組)の後、各組1・2位による決勝トーナメント戦を実施する。(参加チーム数により変更有り)
- ・予選リーグにおける勝ち点は、勝ち - 3点 / 引き分け - 1点 / 負け - 0点とする。
- ・予選リーグにおける順位は、総勝ち点、得失点差、総得点、当該チーム同士の勝敗順で決定し、尚決しない場合は、PK方式によって決勝トーナメント戦進出チームを決定する。決勝トーナメント戦については、プレー時間内で勝敗が決定しない場合、延長前後半5分ハーフタイムなし、尚決しない場合は、PK方式により勝敗を決定する。

12.表彰 優勝チームにピアドゥ杯、準優勝、3位チームに表彰状を授与する。

13.組合せ 主催者において抽選決定。

14.日程 予選リーグ及び決勝トーナメント9月2日(日)

15.その他 医療については、大会中の怪我等についてはチームの責任で対処する。

参加資格に違反し、そのほか不都合な行為のあったときには、そのチームの出場を停止する。

ベンチ入りの人数は、スターティングメンバーを含め19名(役員4名、選手15名)を上限とする。

大会の規律委員会は、主催及び主管団体の代表者複数名により構成される。

## 大会競技規則

### 1. ピッチ

縦40m、横20m。ペナルティーエリアの円弧半径6m。ラインの幅8cm。

### 2. ゴール

高さ2m、幅3m、ポストの幅8cm。

### 3. ボール

株式会社モルテン社製(4号球で2mの高さから落として最初のバウンドが50cm~65cm)

### 4. 選手の用具(大会規定による)

シャツ、パンツ、ストッキング、すね当て、くつ。シャツには背番号(1~15)を付ける。スパイクは不可。アップシューズ等スパイクのないもの。床に色を付けない、接地面が白またはアメ色のもの。

### 5. 時間(大会規定による)

00分(00分ハーフ:ランニングタイム)。ハーフタイムのインターバルは00分。決勝トーナメント戦は(プレーイングタイム/ランニングタイム)で行い決しないときは、延長5分5分インターバルなし、尚決しないときはPK方式により決定する。

チームは、前、後半各1回、1分間のタイムアウトを取ることができる(監督がタイムキーパーに要求し、アウトオブプレーになったときに要求したチームがボールを保持している場合に与えられる)。

### 6. 競技者数

1チーム5人。うち1人はGK。交代選手の数は、最大7人。選手は、GKも含め、試合中交代ゾーンから自由に交代ができる。ただし、プレー中の選手が完全にピッチを出てから交代選手が入る。

フィールドプレーヤーがGKに代わりプレーするときは、その選手の背番号のついたGKのジャージを着用する。

### 7. 直接フリーキックとなる反則

サッカーで反則となるものの他、ショルダーチャージやスライディングタックル(自分のペナルティーエリアで行うGKのスライディングタックルを除く)を犯すと相手チームに直接フリーキックが与えられる。

### 8. 退場

退場を命じられた選手は、ベンチに戻れない。プレーイングタイムで計測された2分間経過後、交代選手を補充できる。ただし、2分間未経過であっても、選手の少ない方のチームが得点された場合のみ、交代選手を補充できる。

交代選手の補充は、タイムキーパーの承認を得て行う(インプレー中も可能)。

### 9. 反則の累積

直接FKが与えられた反則のみが累積される。各チーム累積6つ目からの反則は、相手のチームに壁なしの直接FKが与えられる。FKの場所は、[a]自陣のゴールラインから10mの距離に引かれた仮想ラインから相手チームのゴールラインまでの間で犯した反則に対しては、全て第2PKマークから。[b]ペナルティーエリア内を除く、自陣ゴールラインから10mの仮想ラインまでの間で犯した則に対しては、反則の地点もしくは第2ペナルティーマークからの選択。[c]ペナルティーエリア内の直接FKに値する反則はペナルティーキック。なお、壁なしの直接FKが蹴られるとき、キッカー以外はボールより後方に位置し、かつ、ボールから5m以上離れなければならない。また、GKはペナルティーエリア内で、ボールから5m以上離れなければならない。

### 10. キックイン

ボールがタッチラインから出たときはボールを出した相手チームのキックインでプレーが再開される。ボールはライン上に静止させ、4秒以内に行われなければならない。キックインを正しく行わなかった場合、相手チームにキックインが与えられる。

### 11. ゴールクリアランス

攻撃側チームが最後に触れたボールがゴールラインから出たときは、ゴールクリアランスでプレーが再開される。ゴールクリアランスは、ノーバウンドでハーフウェーラインを越えて投げて良い。

### 12. ゴールキーパーのプレー

GKは、直接ハーフウェーラインを越えてボールを投げて良い。ただし、直接相手ゴールに投げ入れても得点として認められない。

G Kは、自陣のハーフ内においてはペナルティーエリアの内外にかかわらず、足であっても4秒以上ボールをコントロールすることができない。

#### 13. ゴールキーパーへのバックパス

ボールがインプレー中、あるいはゴールクリアランスからにかかわらず、G Kから出されたボールは、ハーフウェーラインを越えるか相手選手がボールに触れなければ、G Kへ戻すことはできない。戻されたボールにG Kが触れた場合、相手チームに間接F Kが与えられる。触れた地点がペナルティーエリア外であればその地点から、ペナルティーエリア内であればその地点から最も近いペナルティーエリアライン上の地点からキックが行われる。

#### 14. 4秒ルール

フリーキック、キックイン、コーナーキック及びゴールクリアランスは、4秒以内に行わなければならない。4秒を超えると、相手チームにキックインあるいは間接フリーキックが与えられる。

#### 15. 天井にボールが当たったら(今大会は屋外の為適用外)

ボールを当てたチームの相手チームに、当たった場所に最も近いタッチライン上からのキックイン、もしくはゴールラインからのゴールクリアランスが与えられる。

#### 16. オフサイド

オフサイドは、ない。

#### 17. その他

その他の規則については、(財)日本サッカー協会「フットサル競技規則」による。